

建設委員会報告資料

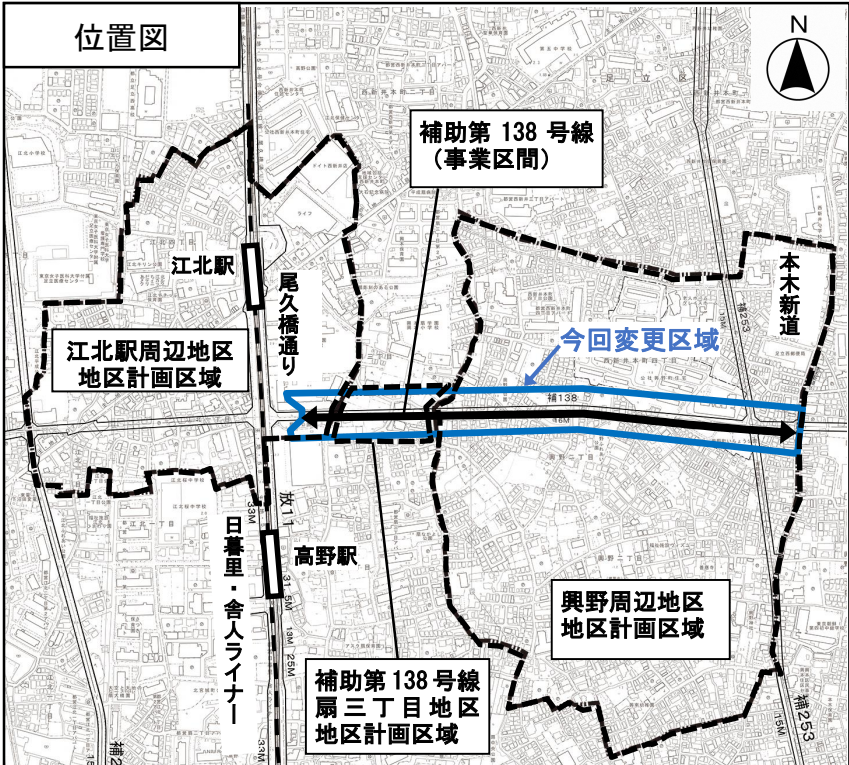
令和 8 年 1 0 月 9 日

報告事項件名	頁
(1) 都市計画道路補助第 1 3 8 号線沿道の 都市計画等変更原案説明会の開催について	2
(2) 足立区バリアフリー地区別計画（竹の塚周辺地区編）素案に関する パブリックコメントの実施について	4
(3) ドッグラン試行設置に向けた意向調査の結果について	5
(4) 公園・児童遊園の自主管理団体に対する報償費の見直しについて	8
(5) 公園施設の指定管理者業務評価結果について	1 2
(6) 足立区関原の森関連施設の指定管理者業務評価結果について	2 8
(7) 花畑二丁目生コン工場への対応状況について	4 1

(都市建設部)

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件名	都市計画道路補助第138号線沿道の都市計画等変更原案説明会の開催について					
所管部課名	都市建設部まちづくり課					
内容	都市計画道路補助第138号線（興野地区）の整備に合わせ、沿道の延焼遮断帯形成に向けて都市計画法第16条に基づく都市計画原案の説明会を開催するので、以下のとおり報告する。  この地図は、東京都縮尺1/2,500地形図を使用（承認番号：8都市基交測第51号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップに帰属する。（承認番号）8都市基街都第73号、令和8年5月25日（承認番号）8都市基交都第31号、令和8年5月21日 1 開催日（予定） 補助第138号線扇三丁目地区、江北駅周辺地区、興野周辺地区の各地区で説明会を開催する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th><th>開催日時及び場所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">扇三丁目地区</td><td>令和8年10月30日（金）午後7時～ 10月31日（土）午前10時～</td></tr> <tr> <td>江北桜中学校</td></tr> </tbody> </table>	地区	開催日時及び場所	扇三丁目地区	令和8年10月30日（金）午後7時～ 10月31日（土）午前10時～	江北桜中学校
地区	開催日時及び場所					
扇三丁目地区	令和8年10月30日（金）午後7時～ 10月31日（土）午前10時～					
	江北桜中学校					

地 区	開催日時及び場所
江北駅周辺地区	令和 8 年 11 月 1 日（日）午前 10 時～
	11 月 2 日（月）午後 7 時～
	すこやかプラザ あだち（1 日） 江北小学校（2 日）
興野周辺地区	令和 8 年 11 月 3 日（火）午前 10 時～
	11 月 4 日（水）午後 7 時～ 西新井小学校

2 主な説明内容

（1）まちづくりの目標

- ア 災害に強いまち（扇三丁目・江北駅周辺・興野周辺）
- イ 住みやすいまち（扇三丁目・興野周辺）
- ウ 活気のあるまち（江北駅周辺）

（2）用途地域の変更案

用途地域、容積率、建蔽率、高度地区、防火規制、道路斜線勾配

（3）地区計画の計画案

壁面の位置の制限等

3 今後の予定

時 期		内 容
令和 8 年度	11 月	都市計画法第 16 条に基づく都市計画原案の公告・縦覧
	1 月	都市計画法第 19 条に基づく東京都知事協議
	2 月	都市計画法第 17 条に基づく都市計画案の公告・縦覧
	3 月	足立区都市計画審議会にて審議
令和 9 年度	春頃	東京都都市計画審議会にて審議
	夏頃	都市計画変更の決定

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件 名	足立区バリアフリー地区別計画(竹の塚周辺地区編)素案に関するパブリックコメントの実施について																
所管部課名	都市建設部ユニバーサルデザイン担当課 都市建設部都市建設課																
内 容	竹の塚周辺地区のバリアフリー地区別計画(以下「地区別計画」という。)素案に関するパブリックコメントの実施について、以下のとおり報告する。 1 パブリックコメントの実施 (1) 募集期間 令和8年10月26日(月)～令和8年11月25日(水) (2) 周知方法及び閲覧配布 ア あだち広報10月25日号、区ホームページ及びSNSによる周知 イ 都市建設課、区民事務所、中央図書館、区政情報課及び政策経営課にて資料を閲覧、配布する。 2 地区別計画素案の主な内容(別添資料参照) (1) 計画の概要(計画の位置づけ、内容、策定後の進め方) (2) 計画の策定に至る経緯 (3) 地区の現状と課題、基本的な方針、生活関連施設・経路・区域の設定 3 今後の予定 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時 期</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和8年</td><td>10月</td><td>地区別計画素案を公表</td></tr> <tr> <td>10～11月</td><td>パブリックコメントの募集(31日間)</td></tr> <tr> <td rowspan="3">令和9年</td><td>1月下旬</td><td>上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告 第27回足立区バリアフリー協議会</td></tr> <tr> <td>2月上旬</td><td>パブリックコメントに対する区の考え方を公表</td></tr> <tr> <td>3月上旬</td><td>地区別計画(竹の塚周辺地区編)の策定</td></tr> </tbody> </table>		時 期		内 容	令和8年	10月	地区別計画素案を公表	10～11月	パブリックコメントの募集(31日間)	令和9年	1月下旬	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告 第27回足立区バリアフリー協議会	2月上旬	パブリックコメントに対する区の考え方を公表	3月上旬	地区別計画(竹の塚周辺地区編)の策定
時 期		内 容															
令和8年	10月	地区別計画素案を公表															
	10～11月	パブリックコメントの募集(31日間)															
令和9年	1月下旬	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告 第27回足立区バリアフリー協議会															
	2月上旬	パブリックコメントに対する区の考え方を公表															
	3月上旬	地区別計画(竹の塚周辺地区編)の策定															

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

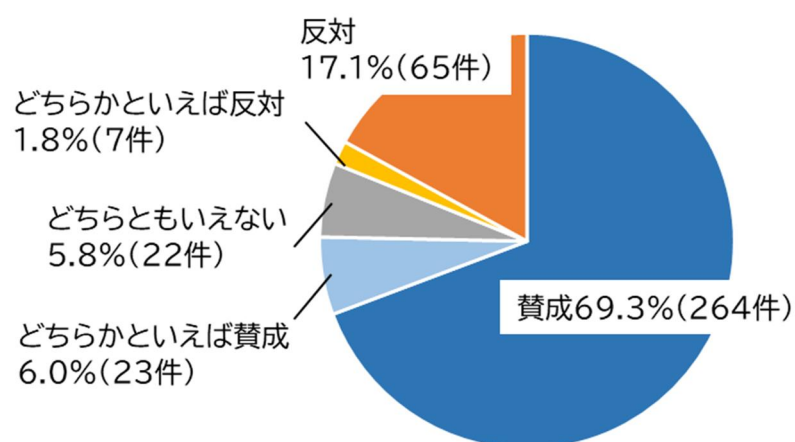
件名	ドッグラン試行設置に向けた意向調査の結果について
所管部課名	道路公園整備室パークイノベーション推進課
内容	区内におけるドッグランの試行設置に向けて、意向調査を実施したので、以下のとおり調査結果を報告する。意向調査の結果、試行設置への賛成が多数となったため、令和9年度の試行設置に向けて進めていく。 1 試行設置の候補地 荒川河川敷（新田わくわく♡水辺広場の一部）に試行設置する。  2 意向調査（アンケート）の実施 ドッグランの試行設置について、当該公園利用者及び近隣住民等に対して、以下のとおり意向調査を行った。 (1) 意向調査（アンケート）の概要 ア 実施時期 令和8年7月3日～8月31日 イ 調査方法 (ア) インターネットによる回答（足立区オンライン申請システム） (イ) 回答用紙による回答（窓口受取り、FAX等）

(2) 意向調査（アンケート）の結果

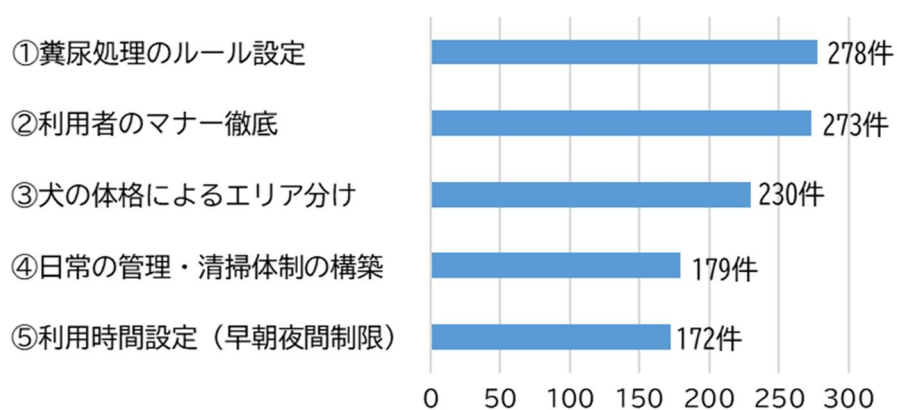
ア 調査件数

項目	件数	割合
有効回答数	381 件	-
犬の飼育状況	飼っている	224 件
	飼っていない	150 件
	無回答	7 件
ドッグラン利用経験	あり	208 件
	なし	137 件
	無回答	36 件

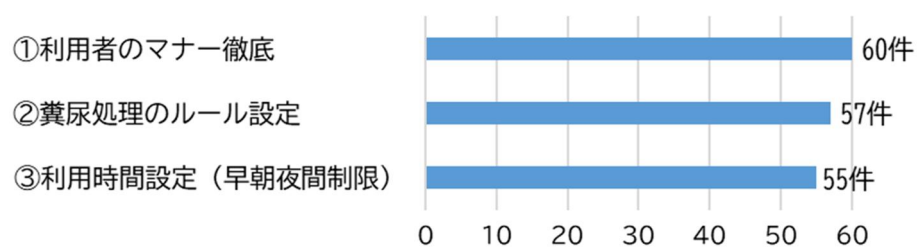
イ 試行設置に対する賛否の割合



ウ 気になること、必要なルールや工夫（複数回答・全体）



エ 反対の方が気になること、必要なルールや工夫（複数回答・反対）



オ アンケート結果の傾向

(ア) 賛成派（賛成＋どちらかといえば賛成）が約 75%と多数

(イ) 非飼育者（150件）に限ると反対が約 41%

(ウ) 「気になること、必要なルールや工夫」の面では、糞尿処理や利用者のマナーなどの割合が高く、反対されている方は、利用時間設定の割合も比較的高い傾向

3 これまでの経緯及び今後の予定

時 期		内 容
令和8年度	7～8 月	アンケート実施
	9 月	アンケート集計
	10 月	集計結果を踏まえた運営・管理体制の検討
	1～3 月	河川管理者との詳細協議
令和9年度		施設設計及び工事、試行開始 ※ 設置後に改めて意向調査を実施し、本格設置に向けた方向性を検討

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件名	公園・児童遊園の自主管理団体に対する報償費の見直しについて			
所管部課名	道路公園整備室公園維持課			
内 容	公園・児童遊園の自主管理団体に対する報償費の見直しについて、以下のとおり報告する。			
	1 公園等自主管理の目的			
	公園・児童遊園の維持管理活動の一部である清掃や草刈を町会等の団体が担い、安全、安心かつ快適な公園等を利用者及び近隣住民に提供し、良好なまちづくりに寄与すること。			
	2 見直し理由			
	これまでの見直し状況	平成 21 年度から令和 8 年度現在まで消費税率引き上げ時以外の見直しを実施していないため。		
	活動団体の声	活動に必要な機材、消耗品の購入等、物価高により年々負担が大きくなり、近年増額の要望が出てきているため。		
	近隣区の状況	報償費の金額水準について、令和 8 年度時点で作業内容が近い近隣区と大きな隔たりはないが、近隣区は定期的に謝礼の見直しを実施している傾向がある。 ※ 近隣区との比較について（別紙 1 参照 P10）		
	3 見直し方法			
	現行の最低賃金(時間当たり)をベースに、時間、作業回数、東京都建設局積算基準の現場経費率などの考え方を加味して金額を算出し、令和 9 年度から約 2 0 %増額する。			
	※ 増額前後の単価について（別紙 2 参照 P 1 1）			
【参考 増額前後の報償費(案)の比較について】				
	作業内容	面積	報償費(年間)	
			令和 8 年度まで	令和 9 年度以降
A 団体	清掃	1, 034 m ²	約 9 万 9 千円	約 11 万 9 千円 (約 20%増額)
B 団体	清掃・草刈	3, 536 m ²	約 36 万 8 千円	約 44 万円 (約 20%増額)

	4 周知方法 (1) 現活動団体に対する次年度の継続意向調査 (2) あだち広報
--	---

近隣区との比較について

令和 8 年 4 月時点

	活動内容	頻度	1 千 m ² 報償費（年間）	5 千 m ² 報償費（年間）	増額の頻度	他区との比較
足立区	清掃のみ、又は 清掃と草刈	清掃 週 1 回 草刈 月 1 回	清掃のみ 約 6 万 6 千円 清掃と草刈 約 1 6 万円	清掃のみ 約 2 3 万円 清掃と草刈 約 5 2 万円	平成 2 1 年度から 消費税分のみ増額	報償費の金額水準について、近隣区 C 以外の作業内容が近い区は大きな隔たりが無いが、足立区のみ長期間報償費の増額を行っていない。
近隣区 A	清掃と草刈、 利用者指導	清掃草刈 週 2 回	約 1 3 万円	約 6 3 万円	令和 2 年度に増額実施 今後の見直しを検討中	
近隣区 B	清掃と草刈、 簡易な樹木の刈込 利用者指導	清掃草刈 週 1 回	約 1 3 万円	約 6 7 万円	3 年以上増額してない が、不定期で増額	
近隣区 C	清掃のみ	決まってない	約 5 万円	約 1 0 万円	何年も増額していない	
近隣区 D	清掃と草刈	決まってない	約 1 7 万円	約 5 2 万円	令和 7 年度に開始した 取組みのため未実施	

増額前後の単価について

【清掃】

活動範囲の面積	年額(税込)	
	令和9年3月まで	令和9年4月以降(案)
500㎡未満	33,000円	39,600円
1,000㎡未満	66,000円	79,200円
1,500㎡未満	99,000円	118,800円
2,000㎡未満	132,000円	158,400円
2,500㎡未満	165,000円	198,000円
3,000㎡未満	198,000円	237,600円
3,000㎡以上	231,000円	277,200円

【草刈】

	活動範囲の面積	年額(税込)	
		令和9年3月まで	令和9年4月以降(案)
基本料	1,000㎡未満	11,000円	12,100円
	2,000㎡未満	22,000円	24,200円
	2,000㎡以上	33,000円	36,300円
	草刈方法	令和9年3月まで	令和9年4月以降(案)
積上分	手刈り	264円/㎡	319円/㎡
	肩掛け機械	92円/㎡	110円/㎡
	ロータリー機械	46円/㎡	55円/㎡

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件 名	公園施設の指定管理者業務評価結果について
所管部課名	道路公園整備室公園維持課
内 容	公園施設（3施設）指定管理者の令和7年度業務について、足立区公園施設指定管理者選定等審査会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。 1 江北公園の一部及び荒川鹿浜橋緑地の一部（都市農業公園、鹿浜二丁目44番1号） （1）主な業務内容 ア 公園施設、園内植物及び田畑ほかの管理運営 イ 自然啓発等の事業（自主事業を含む）の企画及び実施 ウ 会議室・駐車場の利用及び貸出等管理業務 エ レストハウスの運営 等 （2）指定管理者 体験型有機農業パークマネジメント 代 表 企 業 株式会社自然教育研究センター 代表取締役 税所 功一（令和8年4月1日から小泉 大和） （3）指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日 （4）指定管理料（決算額） 令和7年度 1億6631万7691円（税込） （5）評価対象期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（4年目） （6）評価委員会開催日 令和8年7月16日（木）

内 容	(10) 評価委員会での主な意見と回答 【意見 1】 前年度からスタッフが 5 名減っているが、運営に影響はないか。 【回答 1】 影響はない。属人化しないためのマニュアル整備など業務の効率化が形になってきた結果である。 【意見 2】 レストラン 2 階でしか提供されていないメニューがあるが 1 階では提供しないのか。 【回答 2】 1 階はサイクリスト向けの軽食、2 階は都市農業公園らしい魅力的なメニューを提供するなど性格分けをしているため提供はしない。 (11) 評価結果の公表 区ホームページに令和 8 年 1 1 月上旬に掲載予定。 (12) 問題点、今後の方針 今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。 2 元湊江公園・生物園（保木間二丁目 1 7 番 1 号） (1) 主な業務内容 ア 元湊江公園の維持管理及び管理運営業務 イ 生物園の維持管理業務 ウ 生物園の管理運営業務 エ 自主事業の企画・実施 等 (2) 指定管理者 体験型いきものパークマネジメント 代 表 企 業 株式会社自然教育研究センター 代表取締役 税所 功一（令和 8 年 4 月 1 日から小泉 大和） (3) 指定管理期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 1 1 年 3 月 3 1 日 (4) 指定管理料（決算額） 令和 7 年度 3 億 1 2 7 4 万 3 6 8 6 円（税込） (5) 評価対象期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日（2 年目） (6) 評価委員会開催日 令和 8 年 8 月 7 日（金）
-----	---

内
容

(7) 評価委員会委員構成（計6名）

種別	氏名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	鈴木 哲也 【委員長】	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科教授
	加賀谷 玲夢	帝京科学大学生命環境学部 アニマルサイエンス学科講師
区 民	三浦 りさ	NPO法人子育てパレット 代表理事
	中山 貴子	環境マイスター
区 職 員	塩田 伸子	地域調整課 竹の塚区民事務所担当係長
	井越 昭久	環境政策課 計画推進係長

(8) 評価方法

ア 指定管理者による自己評価

イ 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価

ウ 評価委員会による評価

<提出資料>

(ア) 事業報告書

(イ) 利用者満足度調査報告書

(ウ) 労働条件チェックシート

(エ) 収支報告書

(オ) 提案書

(カ) 業務従事者一覧

(9) 評価結果

令和6年度		令和7年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
61点／70点	A	58点／70点	A－

(評価項目及び評価基準は、別紙2参照 P22～24)

※ 「地域連携・地域貢献」などの項目で令和6年度より低い評価となった。令和8年度は、各種教育機関との連携した取組みを充実させる。

(10) 評価委員会での主な意見と回答

【意見1】

授乳室を改修されていたが、パパの授乳はどのような想定か。また、おむつ替えシートは2階の授乳室横のみか。

【回答１】

パパの授乳は、授乳室横のベンチなどを想定している。おむつ替えシートは、２階授乳室横のほか、１階の男女トイレそれぞれに設置している。

【意見２】

日本の希少種の保全は既に成功されているが、足立区の自然保護・生物のためにも、今後活躍してほしい。

【回答２】

既に調査を開始している元渚江公園のアズマヒキガエルの保全のためには、それに付随した自然環境も大事だと認識しており、引き続き調査を継続し、保全に繋げたい。

(11) 評価結果の公表

区ホームページに令和８年１１月上旬に掲載予定。

(12) 問題点、今後の方針

今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。

３ 花畑公園・桜花亭（花畑四丁目４０番１号）

(１) 主な業務内容

- ア 花畑公園（広場）の維持管理業務
- イ 桜花亭・日本庭園の維持管理業務
- ウ 桜花亭施設の利用・貸出等管理業務
- エ 文化・啓発事業（自主事業）の企画及び実施
- オ 桜花亭内喫茶コーナーの運営業務 等

(２) 指定管理者

一般財団法人公園財団
理事長 舟引 敏明

(３) 指定管理期間

令和５年４月１日～令和１０年３月３１日

(４) 指定管理料（決算額）

令和７年度 ８０３９万１０６０円（税込）

(５) 評価対象期間

令和７年４月１日～令和８年３月３１日（３年目）

(６) 評価委員会開催日

令和８年７月８日（水）

内
容

(7) 評価委員会委員構成（計6名）

種 別	氏 名	役 職 等
学識経験者 (有識者含む)	海津 ゆりえ 【委員長】	文教大学国際学部 国際観光学科教授
	菅原 大輔	東京電機大学未来科学部 建築学科准教授
区 民	高橋 和彦	まちづくり推進委員
	中山 小夜子	スポーツ協会加盟団体 足立区水泳連盟 副会長
区 職 員	中村 輝明	郷土博物館長
	鈴木 亮太	シティプロモーション課 プロモーション係長

(8) 評価方法

ア 指定管理者による自己評価

イ 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価

ウ 評価委員会による評価

<提出資料>

(ア) 事業報告書

(イ) 利用者満足度調査報告書

(ウ) 労働条件チェックシート

(エ) 収支報告書

(オ) 提案書

(カ) 業務従事者一覧

(9) 評価結果

令和6年度		令和7年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
48点／60点	A－	45点／60点	A－

(評価項目及び評価基準は、別紙3参照 P25～27)

※ 「利用者の満足度（アンケート調査等による）」などの項目で、令和6年度より低い評価となった。アンケート総数が少なく、結果にブレが生じやすい状況のため、令和8年度はアンケート総数を増やすための対策も講じる。

内 容	(10) 評価委員会での主な意見と回答 【意見 1】 桜の更新を行っているが、伐採した本数より植栽した本数が少ないのは、もともと多すぎたということか。 【回答 1】 ご指摘のとおり。多少間引くことで日が良く当たり、1 本 1 本が健全に良く育つようになる。 【意見 2】 例年より庭園ライトアップの日数を 1 日増やし集客が増えたが、ほかに何か工夫している点はあるか。 【回答 2】 東京都の補助金を活用し、照明機材を充実させた。また、国定公園などでライトアップの実績のある業者に芝をキレイに見せるライティング方法などプロデュースをしてもらった。 (11) 評価結果の公表 区ホームページに令和 8 年 1 1 月上旬に掲載予定。 (12) 問題点、今後の方針 今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。
-----	---

令和8年度 江北公園の一部及び荒川鹿浜橋緑地の一部(都市農業公園) 業務評価シート
 【評価対象年度】令和7年度 【自己評価】令和8年5月22日 【評価委員会】令和8年7月16日
 【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙 1

大項目	中項目	確認項目	評価点		
1 管理状況	A 適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 適正な施設運営 ◆開園状況、開園・閉園時の体制、窓口対応 など	4	4	3.9 (満点=5点)
		2 施設・設備の保守点検 ◆設備管理：空調設備(年4回)、遊具(月1回) など	4	4	
		3 施設の清掃・維持管理 ◆日常清掃(毎日)・定期清掃(年6回)、古民家燻蒸(年3回) など	4	4	
		4 人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ◆適切な人員配置(施設運営に必要な人員の適正な配置 など)	4	4	
		5 人材育成の取り組み(専門性向上、接遇向上) ◆定期的な業務実施手順の見直し、研修の実施、業績悪化防止 など	4	4	
			20	20	計
			4.0	4.0	平均
	B 安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 施設・設備の安全性の確保 ◆利用者の安全を考慮した日常的な自主点検 など	4	4	3.9 (満点=5点)
		2 防災への配慮 ◆防火管理者の配置、防火管理計画・危機管理マニュアルの策定、防災訓練(年2回)の実施 など	4	4	
		3 防犯への配慮 ◆施錠の徹底、巡回の実施 など	4	4	
		4 事故への対応 ◆緊急連絡網の作成、事故対応マニュアルの策定 など	4	4	
			16	16	計
			4.0	4.0	平均
	C 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施、個人情報事故への対応 など	4	4	3.9 (満点=5点)
		2 各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか など	4	4	
			8	8	計
			4.0	4.0	平均
	D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 収支状況(安定的な運営) ◆収入の状況：令和7年度収入額目標値 (48,595,500円)※区からの指定管理料除く 実績52,850,930円(目標+4,255,430円) ◆令和7年度収支差額(-8,766,710円) (令和6年度収支差額-1,395,001円)	4	3	3.6 (満点=5点)
		2 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆経理の明確な区分、関係書類の整備 など	3	3	
		3 経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 など	4	4	
			11	10	計
			3.6	3.3	平均

大項目	中項目	確認項目	評価点		
1	管理状況	E 効率的な施設管理を行っているか。	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 スタッフによる効率管理 ◆チェックシートによる施設管理標準化、効率的な人員配置 など	4	4	4.3 (満点=5点)
		2 環境や経費削減に配慮した取り組み ◆ゴミの削減、省エネ、剪定枝の再利用 など	4	4	
			8	8	計
			4.0	4.0	平均
2	事業の取組	A 協定や事業計画に沿ったサービスが提供されているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 サービス向上に向けた取り組み ◆案内サインの充実、新規事業の実施 など	5	5	4.6 (満点=5点)
		2 利用促進への取り組み(広報・PR等) ◆ホームページの充実、SNSでの発信、ポスター等の作成、出張事業 など	4	4	
		3 【大型イベント】事業の企画・実施・成果 ◆区指定事業(春の花まつり、五色桜PR企画、秋の収穫祭等)の及び提案事業の実施及び成果	5	5	
		4 【各種プログラム】事業の企画・実施・成果 ◆区指定事業(各種催し(プログラム))及び提案事業の実施及び成果	4	4	
		5 有機農業の取り組み ◆化学肥料や農薬を使用しない作物栽培、年間30種以上の作付 など	5	5	
			23	23	計
			4.6	4.6	平均
	施設の持つ特色を活かした運用	B 花、自然、農文化といった公園の魅力を素材として活かした公園運営を行っているか(係数×2)	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 公園・花壇・緑地(サクラ)の管理状況 ◆年間を通じた美観や自然環境への配慮、来園者を楽しませる工夫、「里帰り桜」ほか園内桜の適正な管理 など	10	10	9.2 (満点=10点)
		2 農地(田畑)の管理状況 ◆来園者を楽しませる作付計画や見せ方、野菜や加工品の販売、農業を知ってもらう工夫 など	8	8	
		3 公園内各施設の日常的な運用 ◆ビジターセンター、人と自然の共生館、工房棟等の運営・活用 など	10	8	
			28	26	計
			9.3	8.6	平均
	地域連携・地域貢献	C 地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
		1 区内施設や各種学校との連携 ◆区施設や他の指定管理者、区内小中学校、高校、大学等との連携と成果	5	4	4.6 (満点=5点)
		2 近隣住民やその他との連携 ◆近隣住民や商業施設等との連携と成果	5	5	
		3 区内の人材活用 ◆区内在住者の人材活用、ボランティアの育成 など	5	5	
			15	14	計
			5.0	4.6	平均

大項目		中項目		確認項目			
2	事業効果	D 利用の状況	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)		評価点		
					指定 管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切 捨て)
			1	入園者数 ◆年間入園者数(目標:370,000人)、前年度からの伸び率 など 令和7年度入園者数:307,429人 (令和6年度入園者数:348,832人) 目標:-62,571人 前年度:-41,403 人	3	3	3.4 (満点 =5点)
			2	イベントやプログラムの参加者数 ◆プログラム参加者数(目標:15,000人以上)、イベント参加者数、前年度からの伸び率など 令和7年度プログラム参加者数:12,033人 (令和6年度プログラム参加者数:18,307人) 目標:-2,967人 前年度:-6,274人	3	3	
			3	会議室・駐車場の利用状況 ◆稼働率、前年度からの伸び率 など 令和7年度会議室稼働率:24.1 %) (令和6年度会議室稼働率:35.2 %) 令和7年度駐車場収入:6,575,600円 (令和6年度駐車場収入:6,675,100円)	3	3	
			4	レストハウスの利用状況 ◆レストハウスの利用者数、売上げ(目標:29,500,000 円)、メニューの充実、前年度からの伸び率 など 令和7年度レストハウス売上:32,703,530円 (令和6年度レストハウス売上:33,542,282円) 目標:+3,203,530 円 前年度:-838,752 円	5	5	
					14	14	計
			3.5	3.5	平均		
	(アンケート利用者の満足度による)	E 利用者の満足を得られているか(係数×3)			評価点		
					指定 管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切 捨て)
			1	来園者・イベント参加者の満足度 ◆来園者アンケートの結果、イベント・プログラム参加者アンケートの結果 など	12	12	12.8 (満点 =15点)
			2	多様な来園者への対応 ◆障がいのある方、持病のある方、性的マイノリティの方などへの配慮 など	12	12	
			3	意見・要望対応 ◆意見・要望等への対応の適切さ など	15	15	
					39	39	計
				13.0	13.0	平均	
合計点(満点=65点)					55.0	53.6	54.2
評 価					A	A-	A

指定管理者			区担当課		
得点	得点率	評価	得点	得点率	評価
55	84%	A	53	81%	A-

評価委員会			⇒	無	⇒	総合評価
得点	得点率	評価				
54	83%	A				

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

＜評価委員会評価基準＞								
評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65	39	59点以上	54点以上	49点以上	44点以上	39点以上	36点以上	35点以下
			58点以下	53点以下	48点以下	43点以下	38点以下	
	得点率	90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とす。

令和8年度 元渚江公園・生物園 業務評価シート

【評価対象年度】令和7年度 【自己評価】令和8年5月18日 【評価委員会】令和8年8月7日

【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙 2

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		1 開園と入園料金の設定 ◆開園状況、開園・閉園時の体制、窓口対応、適切な料金設定 など	4	4	3.7 (満点 =5点)
		2 施設・設備の保守点検（内容、回数等） ◆設備管理：エレベータ（月1回）、自動ドア（年2回）、遊具（月1回）など	3	3	
		3 施設の清掃・維持管理 ◆公園清掃（便所含む）、建物床清掃（毎日）など	3	3	
		4 計画的な植栽管理 ◆植栽の管理：除草・草刈作業、樹木維持管理、草花の植え付け、サクラの更新 など	3	4	
		5 人員配置（配置数、配置箇所、専門性等） ◆適切な人員配置（施設運営に必要な専門資格および経験を有した人員の配置など）	4	4	
		6 人材育成の取り組み（専門性向上、接遇向上） ◆定期的な業務実施手順の見直し、必要な教育訓練の実施など	4	4	
			21	22	計
			3.5	3.6	平均
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		7 施設・設備の安全性の確保 ◆日常的な自主点検による設備の安全点検（通年）などの実施体制	4	4	3.7 (満点 =5点)
		8 防災への配慮 ◆防火管理者の配置、防火管理計画・危機管理マニュアルの策定、防災訓練（年2回）の実施 など	4	4	
		9 防犯への配慮 ◆施錠の徹底、鍵管理マニュアルの周知、巡回の実施 など	4	4	
		10 事故への対応 ◆緊急連絡網の作成、事故対応マニュアルの策定 など	3	3	
			15	15	計
			3.7	3.7	平均
管理状況	法令等の遵守（※倫理性も含む）	個人情報保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		11 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施、個人情報事故への対応 など	4	4	4.0 (満点 =5点)
		12 各種法令等の厳守 ◆労働基準法・公契約条例等の関係法令の遵守、研修の実施 など	4	4	
			8	8	計
			4.0	4.0	平均
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		13 収支状況（安定的な運営） ※区が支出する光熱水費、維持補修・小破修繕費を除く ◆収入の状況：令和7年度実績（369,805千円） ※令和7年度収入額の予算額（340,674千円） ◆支出の状況：令和7年度実績（362,223千円） ※令和7年度支出額の予算額（340,674千円） ◆令和6年度実績：収入（346,823千円） 支出（322,696千円）	5	5	4.3 (満点 =5点)
		14 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆常勤の経理担当職員の配置、経理の明確な区分、帳簿・関係書類の整備、経理状況の明確化 など	3	3	
		15 経費削減の取り組み ◆光熱水費の削減体制、剪定枝のチップ化、施設の長寿命化への体制 など	5	5	
			13	13	計
			4.3	4.3	平均

大項目	中項目	確認項目			
事業効果	生き物の飼育	協定・事業計画に沿った飼育や展示を行っているか（係数×2）		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		16 蝶の飼育・展示 ◆飼育・展示（放蝶）頭数、適切な温室・食草温室の維持管理 など	10	10	9.6 (満点 =10点)
		17 ホタルの飼育・展示 ◆飼育・展示数、イベント（「ホタルの夕べ」等）実施状況 など	10	10	
		18 蝶・ホタル以外の昆虫の飼育・展示 ◆水生昆虫類、バッタ類、陸生甲虫類など	8	8	
		19 魚類・両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類の飼育・展示 ◆魚類、両生類、爬虫類、哺乳類、鳥類など	10	10	
		20 希少生物の飼育・繁殖の取り組み ◆ツシマウラボシシジミ等の域外保全、普及啓発 ◆アズマヒキガエルの生息域内保全 など	10	10	
			48	48	計
			9.6	9.6	平均
事業効果	ぼうけんあそび	協定や事業計画に沿った活動内容となっているか（係数×2）		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		21 ぼうけんあそびの企画・実施 ◆実施回数・参加者数、利用状況の調査など	8	8	7.4 (満点 =10点)
		22 スタッフ・サポーターの育成 ◆スタッフの育成、ぼうけんあそびサポーター（プレーリーダー）の育成・登録者数 など	6	6	
		23 ぼうけんあそびの拡充 ◆目的を達成できているか、出張プレーパークの実施、学校や他団体との連携 など	8	8	
			22	22	計
			7.3	7.3	平均
	事業の取組	協定や事業計画に沿ったサービスが提供されているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		24 サービス向上に向けた取り組み ◆誰もが見やすいパネルデザイン、社会的弱者への配慮 など	4	4	4.7 (満点 =5点)
		25 【生物園】事業の企画、実施 ◆ふれあい・プログラム等の実施状況・内容 など	5	5	
		26 【元洲江公園】事業の企画、実施 ◆公園の多様な利用促進を図るイベント、プログラム等の実施状況・内容 など	5	5	
		27 利用促進への取り組み(情報発信：広報・PR等) ◆対象と媒体の設定は適切で効果が出ているか、内容は興味を引くものか など	5	5	
			19	19	計
			4.7	4.7	平均
	地域連携・地域貢献	地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		28 区内施設や各種教育機関との連携 ◆区施設や他の指定管理者、区内小中学校、高校、大学等との連携と成果 など	5	4	4.3 (満点 =5点)
		29 近隣住民やその他との連携 ◆近隣住民や商業施設等との連携と成果 など	5	4	
		30 区内の人材活用 ◆区内在住者の人材活用、ボランティアの育成 など	3	4	
			13	12	計
			4.3	4.0	平均

大項目		中項目	確認項目			
事業効果	利用の状況	適切な利用状況となっているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		31	総来園者数 ◆年間入園者数（目標：250,000人）、昨年から伸び率など R7年入園者数：261,497人 (R6年入園者数：255,593人)	5	5	4.7 (満点 =15点)
		32	イベントやプログラムの参加者数 ◆プログラム・イベント参加者数(定期44,000人程度、不定期13,000人程度)、当日申込参加率100%、事前申込応募率120%)	4	4	
		33	ミュージアムショップの運営 ◆利用者数、購入者数、売上実績、販売品目の充実 など	5	5	
				14	14	計
			4.6	4.6	平均	
	利用者の満足度（アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか（協定事項） （係数×3）		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		34	【生物園】来園者・イベント参加者の満足度 ◆来園者アンケートの結果、イベント・プログラム参加者アンケートの結果 など R7来園者アンケート 全体満足率94%	12	12	12.0 (満点 =15点)
		35	【元洲江公園】来園者・イベント参加者の満足度 ◆来園者アンケートの結果、イベント・プログラム参加者アンケートの結果 など R7来園者アンケート 合計平均値4.40(5点満点)	12	12	
		36	意見・要望対応 ◆意見・要望等の対応の適切さ、運営への反映 など	12	12	
				36	36	計
				12.0	12.0	平均
合計点（満点＝70点）			58.0	57.8	58.4	
評 価			A－	A－	A－	

【評価委員会評価結果】

評価委員会					
得点	得点率	評価		ランクダウン	総合評価
58	82%	A－	⇒	無	⇒ A－

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満 点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A +	A	A -	B +	B	B -	C
70	42	63点以上	59点以上	53点以上	47点以上	42点以上	38点以上	37点以下
			62点以下	58点以下	52点以下	46点以下	41点以下	
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とす。

令和8年度 花畑公園・桜花亭 業務評価シート
 【評価対象年度】令和7年度 【自己評価】令和8年5月10日 【評価委員会】令和8年7月8日
 【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙3

大項目・中項目		確認項目			
管理状況	適切な管理の履行	協定や仕様書、事業計画に沿って適切に管理が行われているか（協定事項）		評価点	
		指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て	
		1 適切な施設運営 ◆仕様書どおりの開園、料金の設定	4	4	3.7 (満点 =5点)
		2 施設・設備の保守点検（内容、回数等） ◆設備管理：エレベータ（月1回）、空調等設備（年2回）、遊具点検（月1回以上）、紫外線滅菌機点検（年2回以上）など	4	4	
		3 施設の清掃・維持管理 ◆日常清掃（毎日）・定期清掃（年6回）、特別清掃（年2回）など	4	4	
		4 人員配置（配置数、配置箇所、専門性等） ◆適切な人員配置（施設運営に必要な専門資格および経験を有した人員の配置など）：防火・防災管理責任者、造園技能士 など	4	4	
		5 人材育成の取り組み（専門性向上、接遇向上） ◆定期的な業務手順の見直し、研修の実施、業績悪化防止 など	3	3	
		6 区への協力 ◆区から管理運営に関する調査や作業依頼への対応など	4	4	
			23	23	計
			3.8	3.8	平均
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか（協定事項）		評価点	
		指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て	
		7 施設・設備の安全性の確保 ◆利用者の安全を考慮した日常的な自主点検の実施 など	4	4	3.9 (満点 =5点)
		8 防災への配慮 ◆防火管理者の配置、防火管理計画・危機管理マニュアルの策定、消防訓練（年1回）の実施 など	4	3	
		9 防犯への配慮 ◆施錠の徹底、巡回の実施 など	4	4	
		10 事故への対応 ◆緊急連絡網・安全管理マニュアルの策定、職員周知 など	4	4	
			16	15	計
			4.0	3.7	平均
	（※法令等の遵守 法倫理性も含む）	個人情報保護等は遵守されているか（協定事項）		評価点	
		指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て	
		11 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施、個人情報事故への対応 など	4	4	4.0 (満点 =5点)
		12 各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか など	4	4	
			8	8	計
			4.0	4.0	平均
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか（協定事項）		評価点	
		指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て	
		13 収支状況（安定的な運営） ※区が支出する光熱水費、維持補修・小破修繕費を除く ◆令和7年度の収入状況：実績（86,816千円） 予算（83,274千円） ◆令和7年度の支出状況：実績（87,422千円） 予算（83,275千円） ◆令和6年度実績 : 収入（82,465千円） 支出（91,582千円）	3	3	3.0 (満点 =5点)
		14 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆帳簿、関係書類の整備、保存、これらによる経理状況の明確化 など	3	3	
		15 経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 など	4	3	
			10	9	計
			3.3	3.0	平均

大項目・中項目		評価項目		
管理状況	景観や安全の確保	施設の管理運営方針は適正であるか (係数×2)	評価点	
			指定管理者	担当課
				評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		16 計画的な樹木等の管理と保全 ◆計画書による樹木等維持管理（サクラの更新・樹木の剪定・伐採計画、記録も含む など）	8	8
		17 安全・安心な自由広場の管理 ◆日常巡回・点検の実施（遊具点検、ごみ拾い・落ち葉清掃・安全点検 など） ◆四季を感じさせる場の提供 ◆「じゃぶじゃぶ池」の管理運営 など	8	8
		18 美しい庭園景観と安全の確保 ◆水質保全や景観等に配慮した池の管理、堀の管理 ◆お庭番による「魅せる維持管理」 ◆長期的な視点にたった維持管理（自然環境への配慮、庭園の景観構成・バランスの保全 など）	8	8
			24	24
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	評価点	
			指定管理者	担当課
				評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		19 利用者サービス向上策 ◆利用者ニーズの把握、ご意見箱設置 等	4	3
		20 喫茶コーナーの運営 ◆利用者層や利用特性、季節等を勘案したメニューの開発	4	5
		21 地域のコミュニティの形成 ◆地域住民や施設利用者のコミュニティの形成	4	4
			12	12
			4.0	4.0
	地域連携・地域貢献	地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか	評価点	
			指定管理者	担当課
				評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		22 区内の連携 ◆公園ボランティアの活動支援 ◆「プチボランティア」イベントによる参加促進 ◆さまざまな主体の活躍による多様なサービスの提供	4	4
		23 区内の人材活用 ◆区内在住者の雇用 ◆区内事業者の活用（再委託業務）	3	3
			7	7
			3.5	3.5
	利用の状況	計画どおりの利用状況となっているか (※花畑記念庭園・桜花亭部分)	評価点	
			指定管理者	担当課
				評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		24 総来園者数 ◆年間来園者数（108,326人） ※来園者数の目標値（104,000人） 令和6年度の来園者数（108,209人）	4	4
		25 施設利用者数 ◆施設利用者数（20,095人） ※利用者数の目標値（18,500人） 令和6年度の利用者数（18,137人） ◆前年度からの伸び率など	4	4
		26 施設年間稼働率 ◆施設年間稼働率（23.9%）（自主事業を除く） ※稼働率の目標値（23%） 令和6年度の稼働率（21%）（自主事業を除く）	4	4
			12	12
			4.0	4.0

大項目中項目		確認項目			
事業効果	利用者の満足度（アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか（協定事項） （係数×3）	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		27 スタッフの接客対応 ◆スタッフの対応の良さ 【満点5.0点】 対応の良さ：4.6点 ※令和6年度：4.3点	15	12	12.2 （満点 ＝15点）
		28 施設に関すること ◆緑の豊かさ、施設の清潔さ、安全面、便利さ【満点5.0点】 緑の豊かさ：4.6点 ※令和6年度：4.3点 施設の清潔さ：4.4点 ※令和6年度：4.5点 安 全 面：4.0点 ※令和6年度：4.3点 便 利 さ：4.3点 ※令和6年度：4.4点	15	12	
		29 企画内容や満足度 ◆イベントや全体の満足度【満点5.0点】 イベントの満足度：4.8点 ※令和6年度：4.9点 全体の満足度：4.5点 ※令和6年度：4.3点	12	12	
		30 意見・要望対応 ◆意見・要望等への対応の適切さ ※総数15件中、要望2件うち解決済み1件。	12	12	
			54	48	計
			13.5	12.0	平均
合計点（満点＝60点）			48.1	46.0	45.9
評 価			A－	A－	A－

【評価委員会評価結果】

指定管理者			区担当課		
得点	得点率	評価	得点	得点率	評価
48	80%	A－	46	76%	A－

評価委員会			⇒	ランカダウ	⇒	総合評価
得点	得点率	評価				
45	75%	A－		無		A－

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満 点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A－	B＋	B	B－	
60	36	54点以上	50点以上	45点以上	41点以上	36点以上	33点以上	32点以下
			53点以下	49点以下	44点以下	40点以下	35点以下	
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件名	足立区関原の森関連施設の指定管理者業務評価結果について
所管部課名	建築室建築防災課
内容	関原の森・愛恵まちづくり記念館及びまちづくり工房館（関原一丁目21番）の令和7年度指定管理者業務について、指定管理者選定等審査会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。 1 主な業務内容 （1）施設の利用・貸出等管理業務 （2）施設の維持管理業務 （3）提案事業の実施 等 2 指定管理者 特定非営利活動法人あだち・まちづくり・コモンズ 代表者 理事長 中島 勝正 3 指定管理期間 令和7年4月1日～令和9年3月31日 4 指定管理料（決算額） 令和7年度 3321万5037円（税込） 5 評価対象期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（1年目） 6 評価委員会開催日 令和8年7月24日（金）

7 評価委員会委員構成（計6名）

種別	氏名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	青木 勝一 【委員長】	文教大学経営学部経営学科教授
	吉澤 恵美	不動産鑑定士
区内のまちづくりに関する 団体の構成員	田中 光義	まちづくりカウンセラー
	関寺 久夫	本木関原住区センター管理運営委員会相談役
区 職 員	森田 路子	千住福祉課長
	久保田 夏恵	学童保育課長

8 評価方法

- (1) 指定管理者による自己評価
- (2) 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価
- (3) 評価委員会による評価

＜提出資料＞

- ア 事業報告書
- イ 収支報告書
- ウ 利用満足度調査報告書
- エ 研修・訓練等実施報告書
- オ 広報活動等実施報告書 等

9 評価結果

令和6年度（参考）		令和7年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
50点／76点	A－	142点／200点	B＋

評価項目及び評価基準は、別紙「業務評価シート」のとおり（P31～40参照）。

※ 令和8年2月25日総務委員会報告「指定管理者制度の改善の取組みについて」に基づき、令和7年度評価より、業務評価シートを改定した。

稼働率や広報活動について努力・工夫の余地があるとされ、令和6年度より低い評価にとどまった。

10 評価委員会での主な意見と対応等

【意見】

「まちづくり大学」や夏休みの子どもの向け講座、地域住民向けの土曜日のカフェ活動など地域に根差した事業が充実しているが、施設稼働率が課題である。SNS活用や地域の小学校・区内大学等との連携を進めることで、地域内外の利用促進に努めてほしい。

	【対応等】 地域の「まちづくり」拠点としての活動を継続するとともに、周知方法を改善し、利用者の拡大を図る。 11 評価結果の公表 区ホームページに令和８年１１月上旬掲載予定。 12 問題点、今後の方針 今回の業務評価結果に対し、指定管理者には改善に向けた対応を求めている、引き続き業務が確実に履行されるように、毎月の定例会等で進捗を確認しながら指導する。
--	--

業務評価シート

所管課名	建築防災課
評価対象年度	令和 7 年度事業実施分
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
評価委員会開催日	令和8年7月24日

施設概要

施設名称	関原の森・愛恵まちづくり記念館・まちづくり工房館	施設分類	その他区民関連施設
所在地	足立区関原一丁目21番		
設置目的	(足立区関原の森・愛恵まちづくり記念館条例) 区民のまちづくり活動の拠点及び区民相互の交流の場として広く区民の利用に供し、地域社会の健全な発展に寄与すること (足立区まちづくり工房館条例) 工業を営む者に快適な作業空間を提供し、住環境と工業が調和するまちづくりを実践するため		
利用料金制	導入している		
指定管理者	名称 特定非営利活動法人あだち・まちづくり・コモンズ		
	所在地 足立区西新井本町一丁目16番12号		
指定管理業務の内容	管理運営業務 記念館・工房館会議室の利用に関すること まちづくりに関すること 区民相互の交流に関すること 施設の維持管理に関する業務（ただし、工房館作業室にかかわるものを除く。）		
指定期間	令和7年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (2年間)		

評価項目及び評価のポイント

【評価点】

- 5点：要求水準を全て上回っている
- 4点：要求水準を全て満たしていて、かつ水準を上回っている取り組みがある
- 3点：要求水準を全て満たしている(水準クリア)
- 2点：要求水準を満たしておらず努力・工夫の余地がある、または、軽易な課題がある
- 1点：要求水準を著しく下回っている、または、重大な課題がある
- ※ 区が要求する水準を全て満たした場合（＝水準どおり）の評価点は「3」である。
- ※ 要求水準を満たした上で、指定管理者努力により優れた取り組みを行ったと評価される場合、その内容に応じて加点する。
- ※ 特に重要な項目には評価点に傾斜をつけることとするが、その場合「確認項目レベル」で設定する。

【共通項目】

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行 協定書等に沿って適正かつ確実に管理を遂行しているか		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点20点）		
			19	15	14.16
		1 環境美化・衛生管理 ◆計画に則り施設内外の清掃・美化及び衛生管理が徹底されていたか	5	4	3.83
		2 施設の保守点検・修繕 ◆施設の機能維持に必要な保守点検・修繕が適切に実施されているか。	5	4	3.50
		3 人員配置 ◆施設の管理運営にあたる人員（人数・有資格者等）の配置は適正か	5	4	3.83
		4 人材育成の取り組み（専門性の向上、接遇向上） ◆職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（専門性向上など）	4	3	3.00
		指定管理者 【自己評価】 ・広場や施設内部、トイレは毎日清掃している。また、定期清掃に関しては、利用の状況に合わせて実施している。 ・人員配置は受付業務では適正な人数で、発注業務に関しては有資格者が行っている。 ・安全管理に関しては、日常の定期巡回による確認、及び対応により確保されている。 【改善すべき点・課題等】 ・職員の人材育成等の実施が不足しているので、充実させたい。			
		担当課 【担当課評価】 協定書に基づき、日常の清掃、保守点検および適切な人員配置が確実に実施されている。特に清掃については、毎日丁寧に行われており、施設全体の清潔感が良好に維持されている点は高く評価できる。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			
		評価委員会 【評価委員会評価】 施設管理は適切に実施されている。アンケートでも施設への高評価が多い。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保 利用者の安全性は確保されているか		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点20点）		
			19	16	15.34
		5 施設・設備の安全性の確保 ◆設備機能の維持に向けた保守点検は適切か ◆委託されている業務の範囲は適切か	5	4	3.67
		6 防災・防犯への配慮 ◆防火管理者を配置し、防火管理計画を策定しているか ◆日常の施設巡回や異常等の有無を確認しているか ◆防災訓練や鍵の管理方法の周知徹底等、職員の防災・防犯意識を高める取り組みがされているか	5	4	3.67
		7 事故への対策と対応 ◆事故対応マニュアルの策定など、職員の事故対策・対応の周知徹底がされているか ◆事故対応は適切に行われたか	4	4	4.00
		8 平等利用の確保 ◆特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用実態となっているか ◆障がい者や高齢者等に配慮した運営となっているか	5	4	4.00
		指定管理者 【自己評価】 ・施設の維持管理業務に関しては専門の業者に委託し行っており、必要な点検や防災訓練などを併せて実施している。 ・防火管理者は有資格者が専門的な知識を持ち通常管理している。 ・事故はなかった。対応に関しては連絡網を通じて、こまめな連絡を行い、具体的な対応を行っている。 ・バリアフリー化された施設ではないが、簡易器具による対応や人的介助などにより対応し、誰もが利用可能な状態を確保している。 【改善すべき点・課題等】 ・広場利用に関して、夜間管理の対応や、業務時間内により注意を払い管理していく必要がある。			
		担当課 【担当課評価】 防火管理者の選任、年2回の消防訓練、最新型防犯カメラの活用など、利用者の安全確保に向けた取組が適切に実施されている。 バリアフリー未対応箇所についても、簡易スロープの設置や職員による介助など、きめ細かな配慮がなされている。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			
		評価委員会 【評価委員会評価】 安全性は確保されている。木造建築物なので、特に防火への備えは徹底してほしい。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	法令等の遵守（※倫理性も含む） 個人情報保護や公契約条例、関係法令等は遵守されているか。		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点15点）		
			13	10	9.5
		9 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施等をしているか ◆個人情報に関する資料・情報を適切に管理しているか	4	4	3.50
		1 0 労働関係法令の遵守 ◆法定帳簿や就業規則の整備がされているか ◆労働法規等を遵守した適切な勤務体制となっているか	5	4	3.67
		1 1 その他関係法令の遵守 ◆その他関係法令、区条例・規則、協定書に則り、信義に従い誠実に対応しているか	4	2	2.33
		指定管理者 【自己評価】 ・個人情報は受付票しかなく、この管理は施錠できるキャビネットなどで保管している。 ・労働関係法令等については、社会保険労務士の指導により適正に遵守している。 【改善すべき点・課題等】 ・職員の広範囲にわたる研修等の実施が必要と考える。			
		担当課 【担当課評価】 社会保険労務士との顧問契約により、労働関係法令を遵守した適切な勤務体制が確保されている。 個人情報管理についても施錠管理が徹底されており、情報漏えい等の事故は発生していない。 【改善すべき点・課題等】 一部業務の再委託において、協定書に定める「事前申請・承認」手続が「報告」にとどまっていた事例が見受けられたため、今後は適正な手続を徹底していただきたい。（担当課としても確認不足であったため、今後改善する。） 【特記事項】			
		評価委員会 【評価委員会評価】 個人情報保護の取り組みや、労働環境の整備は適正に実施されている。 【改善すべき点・課題等】 監査で指摘された事例は、今後は適正に行っていただきたい。個人情報の取り組みには数回の研修等が必要と思われる。 【特記事項】			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点20点）		
			18	15	14.5
		1 2 収支状況（安定的な運営） ◆収支状況 ◆令和7年度指定管理料（35,040千円）	5	5	4.50
		1 3 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆経理の明確な区分がされているか（口座の区分など） ◆帳簿、関係書類の整備、保存がされ、経理状況が明確になっているか	5	4	3.83
		1 4 財産及び物品の管理 ◆台帳の整備、財産・物品の管理・保存がされているか ◆購入備品の登録手続きに遺漏はないか	4	3	3.17
		1 5 経費の節減 ◆経費を効率的に削減するための取り組みがなされたか ◆経費の効果的・効率的な執行がなされたか ◆環境に配慮し、節電・節水に努めているか	4	3	3.00
		指定管理者 【自己評価】 ・実質収入は利用料のみであり、自主事業等の収入は計画していない。また、施設利用内容等は隣接する住区センターなどと重複しているところもあり収入増は難しい側面がある。 ・税務管理や経理書類等の管理は有資格者が対応している。 ・経費節減に関しては、対応する費目等が少なく、水光熱費等はテナントの利用状況によるが、施設利用に関してはこまめな対応により過剰消費を抑えている。 【改善すべき点・課題等】 ・貸出施設、まちづくり記念施設としての設備等を充実していく必要がある。			
		担当課 【担当課評価】 税理士による適正な会計処理が行われており、指定管理業務の分別管理および四半期ごとの報告も滞りなく実施されている。 光熱水費の削減など、環境配慮と効率的な運営がなされている点も評価できる。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			
		評価委員会 【評価委員会評価】 財務運営や、財産管理は適正に行われている。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取り組み サービス水準の維持・向上が図られているか		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点40点）		
			36	28	28.67
		1 6 まちづくり事業の企画・実施・成果（×2） ◆まちづくりに関する啓発・促進事業の実施及び成果	10	8	7.67
		1 7 地域コミュニティ育成事業の企画・実施・成果（×2） ◆地域コミュニティ育成に寄与する事業の実施及び成果	10	6	7.00
		1 8 独自提案・先進的事業の企画・実施・成果 ◆独自提案・先進的事業の実施及び成果	4	4	4.00
		1 9 サービス向上に向けた取り組み ◆独自提案や利用者要望を踏まえ、業務改善がされているか ◆利用者が快適に利用できる環境が維持されているか	4	4	3.50
		2 0 効果的な営業・広報活動 ◆ホームページ・SNSの充実、活用 ◆情報誌等への広告掲載	4	2	2.50
		2 1 地域特性に配慮した取り組み、地域貢献 ◆近隣施設、区民等との連携及び成果 ◆施設周辺の人材活用（事業講師など）を積極的に実施しているか	4	4	4.00
		【自己評価】 ・まちづくりや地域の活性化に向けて、地域や区内の講師や作家などを中心に、イベントや講座を実施している。また、区内大学との連携による夏休み講座は、長く継続している。 ・地域との連携等については、関係町会や包括支援センターなどと協力し区の孤立支援プロジェクト等も実施している。また地域の伝統的な定例行事などにも参加協力している。また、施設のサロンの開放利用や居場所提供などを積極的に実施している。 ・情報提供に関しては区の協力を得ながらSNSによる発信を行っている。また、定期的に公的な情報誌や広報などに掲載している。 【改善すべき点・課題等】 区の協力により、公的に広域的なPRを実施する必要がある。（観光交流協会などによるPR等）			
		【担当課評価】 まちづくり大学や地域コミュニティ育成事業、独自提案である「関原の森化計画」など、施設設置目的に沿った事業が積極的に実施されている。特に大学との連携によるキッズ講座は定着しており、地域活性化に寄与している。 【改善すべき点・課題等】 事業の周知範囲にやや限定的な面が見られるため、区の広報等との連携を一層強化し、広域的な周知・広報を検討していただきたい。 【特記事項】			
		【評価委員会評価】 建物の良さを活かした取り組みを実施している点は評価できる。 【改善すべき点・課題等】 アンケートは紙以外の収集方法も検討を。SNSの充実では、フォロワー数を増やすよう取り組んで、施設稼働率アップを図っていただきたい。 【特記事項】			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	イメージアップへの取り組み 施設のイメージアップについての取り組みがされているか		指定管理者	担当課	評価委員会
			小計（満点25点）		
			22	20	19.34
		2 2 施設PR事業の取り組み（×2） ◆施設に愛着を感じられるイベントの企画・実施	8	8	7.67
		2 3 子どもの居場所づくりへの貢献 ◆子ども関連事業の企画・実施	4	4	4.00
		2 4 緑の再生による憩いの場づくり（×2） ◆地域住民や利用者のニーズを取り入れた計画か ◆植栽による景観の改善、樹木等の管理と保全	10	8	7.67
		指定管理者	【自己評価】 ・地域や区内のクラフトやハンドメイド作家等が参加するイベントの実施でものづくりや地域の活性化を図っている。 ・また夏休み講座など小学生等を対象とした講座を継続して実施し、子どもの居場所やワーキングサードプレイスとしても開放している。子どもたちは居場所として、広場の一角を利用し、ゲームや会話、遊びを楽しんでいる。 ・住民や地域団体（包括支援センターや社会福祉協議会、地域の厚生施設等）と一緒に緑や花いっぱい活動を進めている。 【改善すべき点・課題等】 ・居場所事業等はより周知が必要となる。また、定期的なフェスやイベントの開催が必要。		
		担当課	【担当課評価】 SNSを活用した情報発信や地域特性を活かしたイベント企画により、施設のイメージアップに努めている。 関森サポーターによる緑化・景観再生事業も順調に進んでおり、景観向上に寄与している。 【改善すべき点・課題等】 子どもの居場所づくり事業（不登校支援等）については、地域ニーズを改めて把握した上で、必要に応じた支援の再開や、より効果的な周知方法の検討が求められる。 【特記事項】		
		評価委員会	【評価委員会評価】 施設の良さを活用したイベントは実施されており、参加者が多いイベントもあるため、今後はPRに注力し参加者を増やすよう図っていただきたい。植栽による憩いの場づくりの努力を感じられる。 【改善すべき点・課題等】 不登校児童は学校内居場所での支援になったようなので、学校休業時などの居場所活用も検討してみたらどうか？ 【特記事項】		

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	利用の成果	事業効果	指定管理者	担当課	評価委員会
		利用成果（利用者満足）が得られているか	小計（満点40点）		
			34	25	25.66
		2 5 利用者数（×2） ◆年間利用者数 ※R5年度10,015人 R6年度10,496人 R7年度11,809人 ◆指定管理期間中の年間利用者数増減	8	6	6.00
		2 6 貸出施設等の利用（稼働）率（×2） ◆施設年間利用（稼働）率（％） ※R5年度16.6％ R6年度17.1％ R7年度15.0％ ◆指定管理期間中の年間利用（稼働）率増減	8	4	4.33
		2 7 職員の接遇 ◆職員の接客対応 ◆職員の親切さ、説明のわかりやすさ	5	4	4.17
		2 8 事業企画等 ◆企画内容の充実、企画の豊富さ、料金設定等	4	3	3.33
		2 9 施設に関すること ◆施設の清潔さ、使いやすさ ◆今後も施設を利用したいか	5	4	4.00
		3 0 苦情・要望対応 ◆苦情・要望等の対応の適切さ	4	4	3.83
		指定管理者	【自己評価】 ・利用者数は増加している。広場等を利用したイベントの開催や定期的な音楽イベント等の実施で参加者が定例化してきている。 ・稼働率は対象となる3室の利用件数が下がっているが、全体の利用件数は大きく変化していない。 ・接遇面や施設利用継続意向等には問題はなく、苦情等もとくにはなかった。 【改善すべき点・課題等】 ・利用件数の増加につながる周知が必要。		
担当課	【担当課評価】 利用者数は増加傾向にあり、音楽イベントの定例化等によりリピーターの定着が進んでいる。 接遇面についても利用者から高い評価を得ており、地域に根ざした丁寧な対応が維持されている。 【改善すべき点・課題等】 稼働率が低下傾向にある貸出施設については、周知方法の工夫に加え、コワーキング利用など新たな利用ニーズの開拓により、有効活用および稼働率向上を図っていただきたい。 【特記事項】				
評価委員会	【評価委員会評価】 施設の稼働率の増加に取り組んでいただきたい。また、利用者アンケートでは職員の対応は良好な結果なので、引き続き維持していただきたい。 【改善すべき点・課題等】 地域だけの利用では稼働率大幅アップも難しいため、SNSを効果的に活用してエリア外からの利用も取り込めるようにしていただきたい。 【特記事項】				

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果	地域連携・地域貢献	地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会	
			小計（満点20点）			
			18	15	14.83	
		3 1 本木関原住区センターとの連携 ◆連携した管理体制：事件・事故等に対する連携した危機管理体制が整っているか ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	4	3	3.50	
		3 2 町会・商店街等との連携 ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	5	4	3.83	
		3 3 大学・NPO団体等との連携 ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	4	4	3.67	
		3 4 施設周辺の人材活用 ◆施設周辺の人材活用を積極的に行っているか	5	4	3.83	
		指定管理者	【自己評価】 ・住区センターとは、緊急時の対応については、スタッフ間で調整し、緊急連絡体制が構築されている。 ・住区祭り等の共催事業や町会、商店街等との共催事業等は定例化している。また、地域の青少年対策地区委員会などのイベントへも協力して実施してきている。 ・イベント実施やスタッフの雇用、委託業務等の発注先も極力周辺地域との連携を考慮して選んでいる。 ・大学との連携に関しては、夏休み講座など専門的なジャンルでの連携協力を継続している。 【改善すべき点・課題等】 ・町会、商店街のみならず、周辺小学校などとの連携なども計画できるとよい。			
		担当課	【担当課評価】 住区センターや町会・商店街等との連携体制が確立されており、災害時対応や地域行事の共催を通じて地域拠点としての役割を果たしている。 地域人材の雇用や地元業者の活用も継続されており、地域経済への貢献も認められる。 【改善すべき点・課題等】 【特記事項】			
		評価委員会	【評価委員会評価】 地域のイベントである「ちょうちん行列」「夏祭り」などは、参加者も多く、地域行事の場所として地域住民に認識されていることは評価できる。 【改善すべき点・課題等】 周辺住民の人材活用では、若い人の活用もできると、イベント企画などにも良い影響がでるのではないかとと思われる。 【特記事項】			
		合計点			評価点	
				指定管理者	担当課	評価委員会
			合計（満点200点）			
			179	144	142.00	

【評価委員会評価結果】

得点	評価	⇒	ランクダウン	⇒	総合評価	(前回) 総合評価
142	B +		有 ・ 無		B +	A-

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【評価委員会による総合評価】

歴史ある建物を良好な状態で維持管理しており、現地視察を通じて、スタッフが施設への理解や愛着を持って運営していることが確認できた。長年の地域貢献や住区センターとの連携、丁寧な接遇についても評価できる。

「まちづくり大学」や子ども向けの「模型講座」など、地域に根ざした事業が充実している。特に土曜日のカフェ活動は、住民同士が交流できる場として定着しており、今後も地域の居場所として継続していくことを期待する。

一方で、施設稼働率の向上は引き続き課題である。交通アクセスや駐車場の制約はあるものの、区の資産としてさらなる利用促進に取り組む必要がある。また、貸館機能だけでなく、「まちづくり記念館」としての役割を踏まえ、施設の目的と利用率の向上を両立する取組について、区と指定管理者で検討していくことが望まれる。

今後は、周辺に増えている若い世代のニーズを取り入れた事業展開や、地域外からも利用したいと思われる魅力づくりが期待される。SNSの活用や大学等との連携による情報発信を強化し、まちづくり活動や地域コミュニティのさらなる発展につなげてほしい。

【指定管理者への改善要望】

アンケートについては、紙以外の方法も含めた意見収集を検討してほしい。また、SNSを活用した情報発信を強化し、フォロワーの増加や地域外からの利用促進につなげていただきたい。

講座やイベントの周知にあたっては、地域の小学校などとの連携を進めることで、より幅広い世代の参加につながることを期待する。

地域人材の活用では、若い世代の参加を促すことで、新たな企画やイベントの展開につながることを望まれる。

【評価結果・提言を受けての今後の取組について】

評価委員会からの意見を踏まえ、施設の設置目的を十分に理解した上で、地域に根ざした事業展開を継続するとともに、利用者の拡大に向けた取組を推進していただきたい。

特に、SNS等による情報発信の充実、若い世代を含む新たな利用者層の開拓、地域団体や学校等との連携強化により、施設の魅力向上と利用促進を図ることを期待する。

今後も、適切な施設管理と質の高いサービス提供に努めるとともに、職員の資質向上やリスク管理体制の強化を進め、地域から信頼される施設運営を継続していただきたい。

【評価委員会評価基準】

ランク	評価基準						
	A +	A	A -	B +	B (標準点)	B -	C
評点	200点(満点) ～180点以上	180点未満 ～166点超	166点以下 ～150点以上	150点未満 ～134点以上	134点未満 ～118点超	118点以下 ～108点超	108点以下 ～0
得点率	100% ～90%以上	90%未満 ～83%超	83%以下 ～75%以上	75%未満 ～67%以上	67%未満 ～59%超	59%以下 ～54%超	54%以下 ～0%

※ 「標準点」・・・評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※ 「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。

建設委員会報告資料

令和8年10月9日

件名	花畑二丁目生コン工場への対応状況について																			
所管部課名	建築室開発指導課 環境部生活環境保全課																			
内容	花畑二丁目生コン工場（以下「工場」という。）の建築基準法等違反に係る対応状況について、以下のとおり報告する。 1 現地調査について （1）搬入車両等の状況について 令和8年9月3日、午前7時30分から午前9時まで、開発指導課が現地調査を実施した。次のとおり、交通安全や周辺への騒音等に配慮した操業が行われていることを確認した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査日時</th><th>令和8年9月3日</th><th>令和8年4月23日 【参考】</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>午前8時前の砂、セメント等搬入車両の入場・出場</td><td>延べ7台</td><td>延べ6台</td></tr> <tr> <td>午前8時前の砂利の搬入車両の入場・出場</td><td>なし</td><td>なし</td></tr> <tr> <td>通学時間帯における西側道路の生コン車の通行</td><td>延べ8台 (午前7時30分～午前8時30分)</td><td>延べ8台</td></tr> <tr> <td>通学時間帯における西側道路の児童生徒の通行人数</td><td>28人 (公園内通行を含む)</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>交通誘導員の配置 (午前7時40分～午前9時)</td><td>北側道路 2名 西側道路 2名</td><td>北側道路 2名 西側道路 2名</td></tr> </tbody> </table> ※ 西側道路 「位置図」 参照 [位置図] 【凡例】 西側道路 ①～④ 測定地点		調査日時	令和8年9月3日	令和8年4月23日 【参考】	午前8時前の砂、セメント等搬入車両の入場・出場	延べ7台	延べ6台	午前8時前の砂利の搬入車両の入場・出場	なし	なし	通学時間帯における西側道路の生コン車の通行	延べ8台 (午前7時30分～午前8時30分)	延べ8台	通学時間帯における西側道路の児童生徒の通行人数	28人 (公園内通行を含む)	26人	交通誘導員の配置 (午前7時40分～午前9時)	北側道路 2名 西側道路 2名	北側道路 2名 西側道路 2名
調査日時	令和8年9月3日	令和8年4月23日 【参考】																		
午前8時前の砂、セメント等搬入車両の入場・出場	延べ7台	延べ6台																		
午前8時前の砂利の搬入車両の入場・出場	なし	なし																		
通学時間帯における西側道路の生コン車の通行	延べ8台 (午前7時30分～午前8時30分)	延べ8台																		
通学時間帯における西側道路の児童生徒の通行人数	28人 (公園内通行を含む)	26人																		
交通誘導員の配置 (午前7時40分～午前9時)	北側道路 2名 西側道路 2名	北側道路 2名 西側道路 2名																		

(2) 工場周辺の騒音測定について

令和8年7月9日、生活環境保全課が工場敷地境界で現地騒音測定(L5※)を実施したところ、いずれの測定地点においても、規制基準値50dBを超過していた。

(規制基準は50dB)

測定地点 (前ページ 位置図)	場 所	測定値 L5※ (dB)
		(午前9時16分～ 午前9時43分)
①	北側道路	73(±0)
②	西側道路	70(+7)
③	南側道路	56(+1)
④	東側道路	58(+2)

※ 測定値については、工場から発生する音だけでなく、周辺道路を走行する自動車の走行音等も含めた値である。

※ L5とは、突発的な音を除外して測定した騒音値を大きい順に並べたときに上から5%にあたる騒音値。

※ ()内は前回(令和8年5月13日)測定値からの増減を示す。

(3) 休業日、夜間の騒音について

生活環境保全課が休業日及び夜間の現地騒音測定(L5)を実施したところ、休業日、夜間とも規制基準値を超過していた。

(規制基準は50dB(昼間)、45dB(夜間))

測定地点 (前ページ 位置図)	場 所	測定値 L5 (dB)	
		工場休業日	稼働終了後(夜間)
		8月10日(月) 13:45～14:18	7月9日(木) 18:40～19:09
①	北側道路	65	69
②	西側道路	62	57
③	南側道路	68	51
④	東側道路	79	55

2 事業者に対する違反是正指導について

令和8年8月24日、工場事業者と面会し、是正計画の進捗について報告書を受領した。

現状で是正計画を公にすることができないことはやむを得ないが、是正方法、スケジュールなどをできる限り早期に明らかにするよう指導するとともに、確実に是正計画を実行するよう指示した。

3 建築基準法第12条第5項に基づく報告書※

建築基準法第12条第5項に基づく報告書について、9月30日、

	次のとおり工場事業者から提出があった。 (1) 騒音、振動等の近隣対策を実施している。 (2) 関係車両の交通安全対策として、通学時の誘導員の配置等を継続している。 ※ この条項を根拠として、区は建築物の所有者等に、建築物の状況等の報告を求めることができるとされており、区の求めに応じて提出されたもの。 4 今後の方針 (1) 是正計画が、自主的かつ着実に履行されるよう定期的に進捗報告を求め、指導し、適宜議会に報告する。 (2) 近隣への環境対策、交通安全対策に引き続き努めるよう指導する。
--	--